

# りんご「ふじ」のつる割れ発生を半減

## 要約

りんごの主力品種「ふじ」の、つるもとに生じる裂果「つる割れ」発生を、散布剤を利用して半減させることができます。

## 研究成果の概要

### 1. 背景・目的

りんご「ふじ」のつるもとに生じる裂果「つる割れ」(写真)は、年によって多発し、市場価格を低下させます。これまでに効果的な対策はなく、生産者や流通関係者を悩ませていました。そこで、この裂果の発生を抑制させる方法を検討しました。



写真 「ふじ」果実の「つる割れ」

### 2. 内容

- 「ふじ」の満開日の20～30日後に樹全体に対して1-ナフタレン酢酸ナトリウム水溶液(商品名:ヒオモン水溶液)を予防的に散布します。
- 図のとおり、収穫時の「つる割れ」の発生を半減することができます。• 平成23年から県や各関係団体と連携して本技術の普及を図っています。

### 3. 活用等

- 主力品種「ふじ」の「つる割れ」発生を半減させることができ、経営が安定します。
- 開花が早い年など、大玉になりやすく「つる割れ」の発生が懸念される場合に使用すると効果的です。

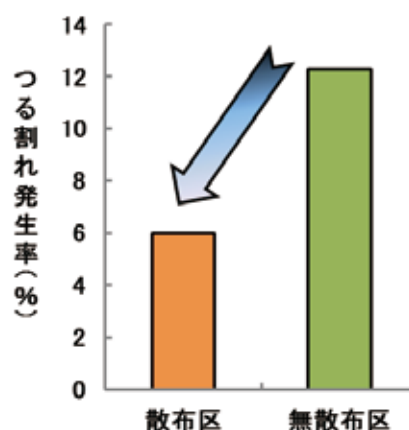


図 散布剤による抑制効果

注) 県内6か所の園地で実施した結果の平均

## 関連情報

- 詳細については、平成23年度指導参考資料を参照してください。  
<http://www.applenet.jp/~nouken/promote/sakumoku/kaju/H23P69.pdf>
- 平成26年現在、県内園地の約200haで利用されており、今後も利用が広がる見込みです。
- 本県以外にも、秋田県や富山県で本技術が指導されています。

りんご研究所 栽培部

Tel. 0172-52-2333

E-mail nou\_ringo@aomori-itc.or.jp

Aomori Prefectural Industrial Technology Research Center  
地方独立行政法人 青森県産業技術センター

